

## 正誤表

2019/12/9 版

### 第2章

#### p.38 引用部

マス目が2マス余分を削除。最終行の末尾にぶら下げ1マス追加。

(リーダーズガイドには「ただ」という余分な文字があるので削除)

(誤)


(A.A., p.xviii (18), 5~8行)

(正)

																	o

(A.A., p.xviii (18), 5~8行)

(1行減るので、引用の後ろに空行を挿入して後続の位置を保つ)

#### p.48 最終行

(誤) 66ページの11行目からです。

(正) 66ページの12行目からです。

#### p.49 引用部の引用元表示

(誤) (A.A., p.66, 11行~p.67, 3行)

(正) (A.A., p.66, 12行~p.67, 3行)



p.79 引用部

行頭の左側の線が余分。

(誤)


(正)


p.81 下から4行目

(誤) 原理を<sup>けいべつ</sup>軽蔑するのをやめて、

(正) 原理に対してこれまで持っていた概念を全部捨てて、

p.89 下段引用部

「・・・要するに」部分は前行の続き。

(誤)


(正)





p.107 15 行目

(誤)

んでしまった人でも、二度と会うことのない人でも、やり方は同じです。97 ページの 10 行目からです。

(正)

んでしまった人でも、二度と会うことのない人でも、**あるいは自分自身であっても**、やり方は同じです。97 ページの 10 行目からです。

p.112 9 行目

(誤) 107 ページの最後の段落には、棚卸表を分かち合う相手の

(正) 106 ページの最後の段落には、棚卸表を分かち合う相手の

p.113 引用部の引用元

(誤)

(A.A., p.106, 11~15行, p.107, 2~4行)

(正)

(A.A., p.106, 11~15行, p.107, 3~4行)

## 第 4 章

p.124 上の引用部の引用元

(誤)

(A.A., p.107, 11~14行)

(正)

(A.A., p.107, 12~14行)



p.126 下段引用部

ぶら下がり句読点のマスが不要。

(誤)

																		。

(正)


p.127 上段引用部

最終行にひとマス足りない。

(誤)

--	--	--	--

(正)

--	--	--	--	--

p.127 5~6行目

(誤)

スの中において、その結果として、飲酒への強迫観念が取り除かれてい  
くでしょう。

(正)

スの中において、その結果として、飲酒への強迫観念が取り除かれつ  
つあるのです。



p.127 9 行目 (下段引用部の上)

(誤) 109 ページの 9 行目からです。

(正) 109 ページの 7 行目からです。

p.131 引用部

右端の一行が不要。

(誤)


• • •

(正)


• • •

p.133 上の引用部

途中ぶら下げのマスがない。

(誤)


(A.A., p.110, 9~15行)

(正)

																	、	
																		○

(A.A., p.110, 9~15行)

(1行減るので、引用後に空行を挿入して後続の位置を保つ)

p.134 下の引用部の上の行

(誤) 112 ページの最後の2行からです。

(正) 111 ページの最後の2行からです。

p.137 上の引用部の引用元

(誤)

(A.A., p.113, 1~9行目)

(正)

(A.A., p.113, 1~9行)

p.138 上の引用部

途中ぶらさがり2マスがない。







p.175 6行目

(誤) 初刷りから二刷りまでの2年あり

(正) 初刷りから二刷りまで2年あり

p.181 引用部と引用部の間の2行目

(誤) 最後から2行目からです。

(正) 最後から3行目からです。

p.184 下段の引用部の前の段落の1行目

(誤) 124ページの最後の段落

(正) 144ページの最後の段落

p.185 上の引用部

最後の三マスが不要。

(誤)

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

(A.A., p.144, 12行~p.145, 1行)

(正)

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

(A.A., p.144, 12行~p.145, 1行)